男:6名 女:75名 合計:81名 回答数 17 回答率 21.0%

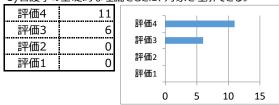
1. 本学卒業生について

評価基準

	P 1 1P4 1					
į	評価4	そう思う	評価3	ややそう思う	評価2	あまり思わない
	評価1	全く思わない	١			

【質問1】 現在の状況について(自己評価)

1)看護学の基礎的な理論をもとに、対象を理解できる。



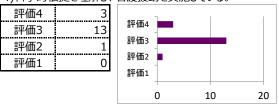
2)対象の健康課題を分析し、問題点を明らかにできる。



3)対象に全わせた看護を実践している

3)対象に古わせた自護を夫践している。							
評価4	8		7	1	ı		
評価3	9	評価4					
評価2	0	評価3					
評価1	0	評価2					
		評価1					
			0	10	20		

4)科学的根拠を理解し、看護援助を実施している。



5)看護の対象と適切な関係を形成している

3/自成の別	然に過りる民	一下でハンルなしてい	ه (م	
評価4	10			1
評価3	7	評価4		
評価2	0	評価3		
評価1	0	評価2		
	-	評価1		
		0	10	20

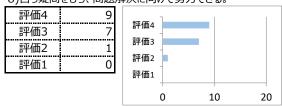
6)チーム医療の重要性を認識し、多職種等と連携している。



7)対象の人権を尊重し、擁護する倫理観がある。

7 7 2 3 5 5 7 5	住で会主し、	が	元/リのうる。	
評価4	14	評価4		
評価3	3	評価3		
評価2	0	評価2		
評価1	0	評価1		
		B+1WI -		
		0	10	20

8)自ら疑問をもち、問題解決に向けて努力できる。



0) 1 的、物理的、奴这的お咨询を調整できる

9)人的・物理的・経済的な具版を調整できる。					
評価4 5	5	評価4		1	
評価3 11		評価3			
評価2 1		-			
評価1 ()	評価2			
	_	評価1			
		0	5	10	15

10)専門職として自己研鑽している。								
評価4	4	٦						
評価3	12	評価4						
評価2	1	評価3						
評価1	0	評価2						
-		評価1						
		0	10	20				

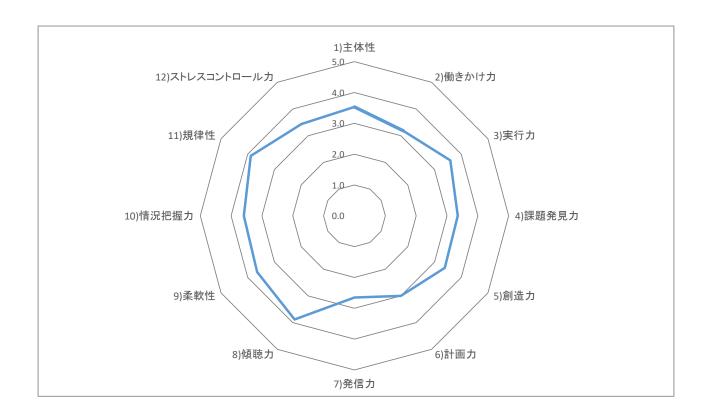
11)専門職	としての将来の	目標を持っている	3。	
評価4	5	評価4	1	
評価3	8	評価3	_	
評価2	4	評価2	_	
評価1	0	評価1		
		6*1W1		
		0	10	20

【質問2】 社会人基礎力について(自己評価)

評価基準 評価5 優れている 評価4 やや優れている 評価3 標準的 評価2 やや劣る 評価1 劣る

	評価5	評価4	評価3	評価2	評価1	平均
1)物事に進んで取り組む力・前に踏み出す力	3	3	11	0	0	3.5
2)他人に働きかけ、巻き込む力・前に踏み出す力	1	2	13	1	0	3.2
3)目的を設定し確実に行動する力・前に踏み出す力	3	4	10	0	0	3.6
4) 現状を分析し目的や課題を明らかにする力・考え抜く力	1	4	12	0	0	3.4
5) 課題の解決に向けたプロセスを明らかにし準備する力・考え抜く力	2	3	10	1	0	3.4
6) 新しい価値を生み出す力・考え抜く力	1	2	11	2	1	3.0
7) 自分の意見をわかりやすく伝える力・チームで働く力	2	4	9	2	0	2.7
8) 相手の意見を丁寧に聴く力・チームで働く力	5	5	7	0	0	3.9
9) 意見の違いや立場の違いを理解する力・チームで働く力	3	5	9	0	0	3.6
10)自分と周囲の人々や物事との関係性を理解する力・チームで働く力	2	6	9	0	0	3.6
11)社会のルールや人との約束する力・チームで働く力	4	7	6	0	0	3.9
12)ストレスの発生源に対応する力・チームで働く力	2	5	8	1	1	3.4

※5)無回答1



【質問3-1】在学中に学んで身についた、現在の看護に活かされていると思うこと

- ・人と関わる力。
- ・対象者に合わせてコミュニケーション能力。関係性を築く能力。
- ・実習での看護展開が今のアセスメントカにつながっています。対象者に合った計画・立案、実践に活かされました。
- ・新卒からICU配属になりました。実習でも行ったことがない場所で看護というより、医療に近いことをしていると思います。そんな中でも、患者にかける言葉がけ、コミュニケーション能力は大学で培ったことだと思ってます。
- ・患者さんの些細な変化に気がついたり他職種と連携したりする力は活かされていると思う。
- ・基礎看護、公衆衛生学、看護技術、母性看護様々な看護を学ぶことでいろんな視点で対象者を見ることができるようになり、 より対象者に対して寄り添うことや、他職種と連携し自分の役割を果たすことができるようになったこと。
- 自分から話しかける力。
- 患者さんと話すこと。
- ・患者への対応。
- ・コミュニュケーション能力、看護技術。

【質問3-2)】在学中にもっと学んでおけばよかったと思うこと

- ・社会福祉について。
- ・解剖生理学。
- ・多重課題への対応。
- ・疾患(解剖生理)。
- ・医療・福祉に関わる制度について。
- ・電気けいれん療法等精神科看護における治療。
- ・アセスメントカ
- ・解剖生理学。
- 注射などの実技演習はもっとやっておくべきだなと思った。